

Sweet
Soul
Blue
Beat

motoharu sano

「君が気高い孤独なら」について

ハートランドからの手紙#204

text=佐野元春

この曲はアルバム「COYOTE」の比較的早いうちにレコーディングされた。アルバムを明るく彩る一曲を、という思いだった。ベーシックなリズムはモータウンだ。小松シゲルと高桑圭のDrums and Bassに、深沼元昭のギター・カッティングが絶妙なグルーヴを生んでいる。僕はピアノを弾いた。

この曲はリリースからするとファンが初夏に聴いてくれる曲ということで、アルバムの他の曲より華やかにいこうと思った。ホーンとストリングスを加え、バックিং・コーラスを添えた。途中、地平線が見えるかのようなホルンのラインが聞こえる。これは山本拓夫と西村浩二による演奏だ。楽器はサキソフォン＋フリューゲル・ホルンを使ってもらった。

本編中ずっと流れている流麗な弦－ストリングスは、金原千恵子ストリングスの面々。彼女たちとは長いおつきあいだ。自分の作品で言うとアルバム「フルーツ」以来、ストリングスといえば彼女たちに参加していただいている。スコアは僕が書いた。

そして僕のメロディーにハーモニーをつけてくれたのは、ボーイズの片寄明人、深沼元昭、小松シゲル、ガールズの竹内宏美、田中まゆ果、Melodie Sexton。みんなこのセッションで知り合った仲間たちといっていいと思う。片寄明人は彼が多感な頃から僕の音楽を聴いてくれていた。深沼君や小松君も世代的に近いだろう。そんな彼らとのセッションは率直に楽しかった。今回のレコーディング・セッションで僕は彼らからいいものをもらった。僕も彼らに何か良いものをあげられたらいいな。

アルバムの主人公「コヨーテ」は、道行きに、ある一人の若者に逢った。初対面ではあるけれど彼の瞳の奥に自分と近い孤独を感じた。「コヨーテ」は思った。もし自分の拙い経験が君の役に立つならば、行って話しかけよう、と。旅の行く先にどしゃぶりの雨が待っているかもしれない。その前に、若者に聴かせたい歌があった。

2007年5月

君が気高い孤独なら — Sweet Soul, Blue Beat
words & music: moto sano

もしも君が気高い孤独なら
その魂を空に広げて
雲の切れ間に
君のイナズマを
遠く遠く解き放たってやれ

もしも君が拙い旅人なら
どこか遠くへと旅立つ前に
僕の歌をちょっと聴いてってくれ
外がどしゃ降りになる前に

通りは陽射しに満ちて暖かく
僕らにはこの音楽が
すぐそばにある
君は光に包まれ
ダンスに夢中で
本気で輝いて
woo woo...
Sweet Soul, Blue Beat...
Sweet Soul, Blue Beat...
何てステキな快感
僕が欲しいのはそんな瞬間

もしも君が蒼い孤独なら
人の話などどうでもいい
その目で聞いて
その胸で話してくれ
このどうしようもない夜の真ん中で
もしも君が気高い孤独なら
その魂を空に広げて
もう一度
どうしようもないこの世界を
強く解き放たってやれ

通りは陽射しに満ちて暖かく
僕らにはこの音楽が
すぐそばにある
君は光に包まれ
ダンスに夢中で
本気で輝いて
woo woo...
Sweet Soul, Blue Beat...
Sweet Soul, Blue Beat...

何てステキな快感
僕が欲しいのはそんな瞬間

もしも君が気高い孤独なら
Sweet Soul, Blue Beat

もしも君が名もない孤独なら
Sweet Soul, Blue Beat...

01. 君が気高い孤独なら – Sweet Soul, Blue Beat

Words and Music : Moto 'lion' Sano

Musicians are:

佐野元春 Vocal, Guitar, Piano、

深沼元昭 Vocal, Guitar

小松シゲル Drums

高桑 圭 Bass

Dr. kyOn Organ

西村浩二 Trumpet & Flugelhorn

山本拓夫 Saxophone

金原千恵子ストリングス Strings

片寄明人、深沼元昭、小松シゲル Boy's Background Vocals

竹内宏美、田中まゆ果、Melodie Sexton Girls's Background Vocals

Produced by 佐野元春

Co-produced by 大井 'スパム' 大輔

Recorded by 伊藤隆文

Mixed by 渡辺省二郎 at tomtom studio、東京

Recorded at 2006.9.14 / 音響ハウス、東京

DaisyMusic